

PFAS
フリー

目的深度からのサンプリングが可能

ソリnst社製ディスクリット・インターバル・サンプラー

- LDPE (低密度ポリエチレン) チューブを用いたステンレス製
- 高品質なウォーターサンプリング
- 最小限の不攪拌
- 異なる深度のコンタミ防止
- 簡単に分解が可能、持ち運びが簡単
- サンプルが空気に触れるのを最小限に抑える
- 揮発性有機化合物 (VOCs) のサンプリングに最適



用途

- 油層等LNAPLの下部にある地下水
- 湖、河川、井戸
- LNAPL/DNAPL のサンプリング 等

サスペンションケーブル

サンプラーの先端にはケーブル接続用のフックがついているので、吊り下げ用のケーブルを接続するのに便利です。モデル425の吊り下げにはソリnst社製タグライン (モデル103) が最適です。本製品はポリエチレンコーティングされた1mm毎の目盛付ステンレスケーブルを使用しています。



適用深度

ディスクリット・インターバル・サンプラーは水深150mのサンプル捕集が可能です。

推奨運転圧力				ディスクリット・インターバル・サンプラー容量			
深さ (ft.)	圧力 (psi)	深さ (m)	圧力 (kPa)	サイズ	容量 (kg)	サイズ(外径×長さ)	容量 (ml)
25	20	8	148	1" × 2'	0.17	25.4mm × 610mm	190
50	30	15	217	1.66" × 2'	0.51	42mm × 610mm	475
100	50	30	364	2" × 2'	0.77	50.8mm × 610mm	800
200	95	60	660	1" × 4'	0.34	25.4mm × 1220mm	365
300	140	90	952	1.66" × 4'	0.90	42mm × 1220mm	1000
500	225	150	1540	2" × 4'	1.73	50.8mm × 1220mm	1800
運転圧力=(サンプル深度ft. × 0.43)+10psi 運転圧力=(サンプル深度m × 9.8)+70kPa				上記以外のサイズも可能です (特注)			

1.ハンドポンプを使用して、必要な圧力に加圧します（圧力/ベントバルブがリールの[加圧]に切り替えられます）。

A：圧力により、底部逆止弁が強制的に閉じられ、水が下降している間にポンプに水が入るのを防ぎます。

2.ハンドポンプをリールから外し、井戸内の目的のサンプリング深度まで下げます。サスペンションケーブルまたはモデル103タグラインに簡単に接続できるように、ケーブルコネクタが上部に含まれています。

注意：

水面下60mを超える深度でサンプリングする場合は、100psilに加圧してから、サンプラーを水面下50mに下げます。圧力を必要な最大値まで上げ、サンプラーを適切なレベルまで下げます。

警告：水深150mを超える深さでの使用向けに設計されていません。

3.サンプリング深度で、圧力/ベントバルブをベントに切り替えます。一杯になるまで1～3分かかります。

B：下部チェックバルブが開き、静水圧で満たすことができます。

C：サンプル水は上部のチェックバルブを強制的に閉じ、サンプル水がチューブに入るのを防ぎます。

4.ハンドポンプを再接続し、圧力/ベントバルブを[加圧]に戻し、手順1のように再加圧します。

D：下部のチェックバルブが圧力で閉じて、サンプル水が排出されないようにします。これにより、サンプルを取り出しても、サンプルの化学的性質は損なわれません。

5.地表で、加圧/ベントバルブをベントに切り替えます。サンプルリリースデバイスを使用して、下部のチェックボールを外し、サンプルを収集します。



株式会社エンバイオ・エンジニアリング

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-2

神田パークプラザ8階

電話：03-5577-5528

Email：order@enbio-eng.com

お客様の声

- 水が混ざらず目的の深度で採水ができる、というのはやっぱり魅力的でした。
（水質分析しましたが、きっちり分かれたので）
メタンガス等の採取でも使いやすかったです。
ただ、まあまあ精密機械ですので、現場の荒っぽい使い方を考えると、ちょっとそのあたりが。。。
メンテナンスをどうするか、も含めてだと思えます。
- 採水チューブに深度の目盛りがないので、ミリ単位で記録するには別のメジャーやメーカーから出ているタグラインを併用しないといけないが、予めチューブに深度目盛りをビニールテープなどで付けて置けば問題ない。

Q&A

Q: 故障した場合、修理は可能でしょうか？

A: Solinstの製品は、ほとんどの部品ごとの交換修理が可能です。
万が一不具合が生じた際は、弊社サービスセンターまでお問合せ下さい。

お問合せ先：株)エンバイオ・エンジニアリング 東京R&Dセンター

049-237-7790 ※平日9:00~18:00

株式会社エンバイオ・エンジニアリング

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-2

神田パークプラザ8階

電話：03-5577-5528

Email：order@enbio-eng.com

